



ひすい

糸魚川市立ひすいの里総合学校

学校だより 12月号 (No. 17)

令和3年12月23日発行



今年もサンタがやってきた!



～糸魚川ライオンズクラブの皆さん ありがとうございます!～



12月23日(木)の終業式の後、サンタさん、トナカイさんがたくさんのプレゼントを「そり」に載せて子どもたちのもとへやって来ました。子どもたちはマスクをしていますが大歓声!「サンタさんだ!」「トナカイさんだ!」と、嬉しい気持ちを体いっぱいに表示ながら体育館に迎え入れました。



毎年、糸魚川ライオンズクラブの皆さんがボランティア活動の一環として学校を訪問し、子どもたちに楽しいクリスマスの時間をプレゼントしてくれています。今年は、「ピアノ&トランペット」による演奏でした。「小さな世界」「夢をかなえてドラえもん」「クリスマスソング・メドレー」の曲に合わせて、子どもたちは歌ったり、体を揺らしたりしました。また、サンタさんとトナカイさんの動きに鈴を鳴らして応援をしました。

プレゼント・タイムは、各学部へのプレゼントをサンタさんから小・中学部代表の児童生徒が受け取りました。その後、サンタさんが子どもたち一人一人



に袋に入ったお菓子を渡してくれました。子どもたちは大喜びでした！

お礼として「赤鼻のトナカイ」をみんなで歌ってお返しをしました。その後、子どもたちとサンタさん・トナカイさんで記念写真を“パチリ！”糸魚川ライオンズクラブの皆さんのおかげで、2日早いクリスマスを楽しむことができました。子どもたちたちへのプレゼントに感謝です。



“いばらきサンタ”さん ありがとうございます！

毎年クリスマスプレゼントを贈ってくださる大阪府茨木市在住の田邊昌男さんから、今年も子どもたちにお菓子のプレゼントが届きました。本日、子どもたちへ渡しました。

田邊さんは糸魚川市出身で、戦時中の学徒勤労により14歳のときに大阪へ行き就職して、現在に至るそうです。田邊さんは、社会貢献活動を40年間続けており、ふるさと糸魚川の「ひすいの里総合学校」の子どもたちにも喜んでもらいたいという気持ちから「いばらきサンタ」の活動を続けているそうです。

右に「いばらきサンタ」さんの少年時代の写真を掲載します。昭和19年（1944年）11月という太平洋戦争末期ですから、このお便りを読んでいる皆さんは、まだ生まれていない方が大部分ですね。現在は91歳くらいでしょうか。田邊さんの思いを感じながら、お菓子を味わっていただければ幸いです。



ひすいの里総合学校は、今号に紹介させていただいた「糸魚川ライオンズクラブ」の皆さん、田邊さんだけではなく、多くの方からご支援をいただいて教育活動を進めています。読み聞かせをして下さっている「手塩の会」の皆さん、体育や作業などの学習ボランティアの方など、子どもたちの成長に役立てばというお気持ちで学校にお力添えをいただいています。大変ありがたいことです。

令和4年度は、ひすいの里総合学校が創立10年の節目の年度を迎えます。皆さんの温かいご支援があってこそ、今日のひすいの里総合学校があると言っても過言ではありません。糸魚川市内唯一の義務教育の子どもたちが通う特別支援学校です。これからも、ご支援をよろしく願っています。